令和元年（2019年）７月発行

令和元年（2019年） 夏号

大津・南部の農業

●発行●
滋賀県大津・南部農業農村振興事務所農産普及課
草津市草津三丁目14-75
TEL 077-567-5421～5423
FAX 077-562-8144
メールアドレス
ga35@pref.shiga.lg.jp
Facebook
https://www.facebook.com/facetoagri.o.n/
発行責任者 山本 孝司

この印刷物は古紙パルプを配合しています

祝 「日本農業遺産」認定！ 世界農業遺産への申請も決定！

伝統的な琵琶湖漁業と「魚のゆりかご水田」、「環境こだわり農業」、「水源林の保全」など、先人から受け継がれてきた「森・里・湖（うみ）に育まれる漁業と農業が織りなす琵琶湖システム」が、今年２月、「日本農業遺産」に認定されました。

「日本農業遺産」とは、何世代にも亘り形づくられてきた伝統的な農林水産業とそれに関わって育まれた文化、景観、生物多様性などが一体となった世界的に重要な農林水産業システムを国連食糧農業機関（FAO）が認定する「世界農業遺産」の国内版です。今回の認定で世界農業遺産への申請も決定しました。

今後は、琵琶湖と共生する農林水産業のさらなる振興や活性化を目指し、「日本農業遺産」の認定地であることを広くアピールし、「世界農業遺産」認定に向けた取組を皆様と共に進めていきます。

「魚のゆりかご水田」の取組について

「日本農業遺産」に認定された「琵琶湖システム」のなかでも「魚のゆりかご水田」は、核となる重要な取組のひとつです。野洲市須原「せせらぎの郷」では、毎年5月に「田植え体験」、6月には琵琶湖から水田に遡上してくる魚たちを観察する「生きもの観察会」、9月には「稲刈り体験」を開催。生き物や環境に関心のある親子づれやNPO、学生、企業など、毎回200名程度が県内外から参加されています。また、生産された米は酒造組合の協力により、「月夜のゆりかご」というお酒にしたり、お菓子にするなど６次産業化にもチャレンジし、積極的な地域活性化に取り組んでおられます。

こうした「世界農業遺産」の認定につながる「人も生き物もにぎわう農山漁村づくり」に向け、引き続き、御支援・御協力をよろしくお願いします！

大津・南部の農業／2019年度夏号.indd 1 2019/06/06 13:37

ハウス被害の特徴を知って補強しよう！

台風の季節となりました。風向とハウス被害の特徴について紹介しますので、ハウス補強の参考にしてください。

風向と被害の特徴・補強の際のポイント

図１の場合、妻面、扉、妻面とアーチパイプの接合部が破損するほか、妻面に近い部分のフィルムも破れます。ハウスの上に回り込んだ風が吹き下り、10～20m先の棟が上から押されて変形することもあります。

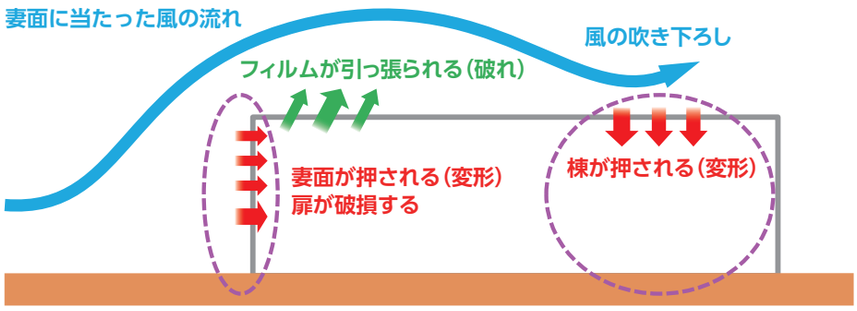

図１　妻面から風が当たるパターン

図②の場合、もっとも風上のハウスでは、側面が押されて風下になびくように変形します。また、風の巻き込みによりハウス反対側側面のフィルムが破損します。2棟以上のハウスが並んで建っている場合、1棟目に当たって吹き上げた風が強く吹き下り、２棟目の天井部を押して変形させます。

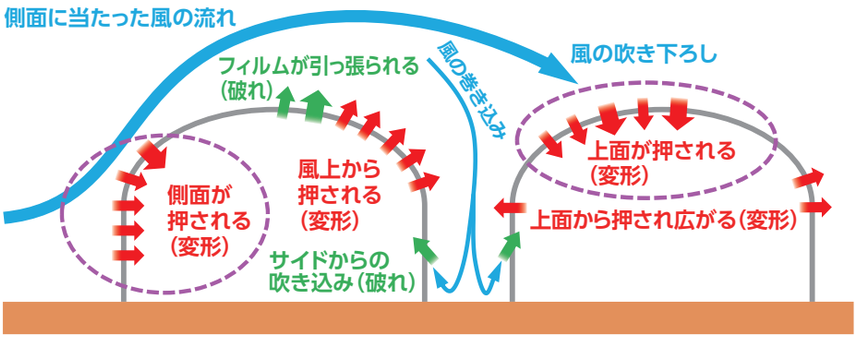

図２　側面から風が当たるパターン

このように、ハウスに対する風向、ハウスの大きさ・形状、周囲の建物や地形等によって補強する場所や方法は異なります。そのため、どの方向から風が吹き、どのような被害をどの部分に受けやすいか把握し、補強することが重要です。

詳細な補強方法については、当課までお尋ねください。

農業災害時の保険制度について

対策を講じても被災を免れない場合もあります。被災時の備えとして、農業共済組合や民間の保険会社が実施する保険制度の活用もご検討ください。

農業者向けの主な保険制度は、施設を補償するものと収入を補償するものです。例として農業共済組合では、農作物を栽培する施設を補償する「園芸施設共済制度」、青色申告の実績に基づいて収入を補償する「収入保険制度」等があります。当管内の詳しい補償内容等は次の農業共済組合までお問い合わせください。

滋賀県農業共済組合南部支所　電話 ０７７－５８２－３００６

大津・南部の農業／2019年度夏号.indd 2　2019/06/06 13:37

滋賀のおいしいものを「ここ滋賀」から全国へ情報発信！新たな販路開拓へ

１「ここ滋賀」ってどんなとこ？

「ここ滋賀」は平成29年に東京・日本橋にオープンした滋賀県の情報発信拠点です。直売コーナーでは、近江米、近江牛、湖魚など滋賀県を代表する農畜水産物を使った商品が販売され、２階のレストランでは「近江牛と発酵」をテーマに近江の食を味わうことができます。その他、滋賀県を様々な角度から伝える催しの開催など、東京から全国の消費者へ滋賀県の魅力をお伝えしています。オープン１年足らずで50万人が来館され、大変好評を得ています。

２ どんな商品が売られているの？

「ここ滋賀」では、米や野菜等の生鮮食品に加え、滋賀の農産物を使った菓子類、酒類、茶、鮒ずしなどの加工品等が売られ、滋賀県らしい商品が並んでいます。当管内からも魚のゆりかご水田米、特別栽培米を使ったおかき、ドライイチゴ、メロンを加工した菓子類など様々な商品が出品されており、首都圏の消費者から人気を博しています。

「ここ滋賀」１階直売コーナー

３「ここ滋賀」に出品するには

「ここ滋賀」では、定期的に商品を募集しているほか、常時、企画催事の募集も行っています。企画催事では、直売コーナーやレストラン（営業時間外）において、生産者自ら直売イベントを開催し、東京の消費者の声を聴いていただけます。首都圏でのマーケティングを考える有効な機会になりますので、ぜひご活用ください。

応募方法など詳細は「ここ滋賀ホームページ」をご覧ください。（https://cocoshiga.jp）

～あなたも滋賀県立農業大学校養成科で学んでみませんか～

修業年数： ２年

専攻コース： 作物、茶、野菜、花き、果樹、畜産

応募資格： 高等学校卒業者および令和２年３月卒業見込みの者、またはこれと同等以上の学力を有すると農業大学校長が認めた者

所在地： 近江八幡市安土町大中503

願書受付期間　推薦： 令和元年10月３日（木）～10月16日（水）まで

一般： 令和元年11月28日（木）～12月４日（水）まで

詳しくは農業大学校（0748-46-2551）または当課までお問い合わせください。

大津・南部の農業／2019年度夏号.indd　3　　2019/06/06　13:37

新たに認定された指導農業士のご紹介

指導農業士制度とは、新たな担い手の育成、農業振興のリーダーとして活躍していただく農業者を市長の推薦により、知事が認定する制度です。今年度は、新たに３名が認定され、管内の指導農業士は総勢21名となりました。

大津市　中田 幸吉さん

中田さんは大津市の野菜苗・花苗の生産販売農家で、販売用の苗は自身の畑でも栽培し青果物として販売されています。

その他、地域の子どもが農業に触れ合えるよう小学校と連携し、地元との繋がりを大切にされています。滋賀県種苗生産販売協同組合理事長、日本種苗協会滋賀県支部支部長等を歴任し、県全体の苗の生産振興に寄与されています。

大津市　西村 幸雄さん

西村さんは大津市北部の中心的な担い手として水稲、麦、大豆を中心とした経営をされています。無人ヘリコプターによる播種、ドローンによる防除、密苗等の先進的技術を地域に先駆けて導入し、省力化を実現しています。JAレーク大津青壮年部では役員として活躍されていたほか、滋賀県稲作経営者会議で幹事を務めるなど、地域の信頼も厚いことから農地を積極的に受託し、地域農業の活性化に貢献されています。

草津市　横江 秀美さん

横江さんは、草津市北山田町の施設団地で軟弱野菜など栽培する株式会社の社長として経営の中心を担っておられます。これまで６次産業部門の導入や、昨年は県内の野菜生産者では初めてのグローバルＧＡＰ認証取得に尽力されました。また、野菜ソムリエやＪＧＡＰ指導員の資格も取得し、女性ならではの視点で会社経営に携わっておられます。多くの社員を抱え、コミュニケーションを大切にしてきた経験を活かし、担い手の育成などますますの活躍が期待されます。

大津・南部の農業／2019年度夏号.indd　4　　2019/06/06　13:37